

2022年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答要旨

株式会社 平和
経営企画グループ

2021年11月12日に開催いたしました「2022年3月期第2四半期決算説明会」における質疑応答の要旨は以下のとおりです。

【遊技機事業】

Q1. 2022年3月期の上期実績は、販売が苦戦したように見受けられる。販売台数が伸び悩んだ理由は何か。また、下期はどのような点を改善して、拡販につなげるのか。

A1. 上期の販売が伸び悩んだのは事実である。理由として、コロナ前の3割ほど稼働が減少しており、パチンコホールの経営環境が想定より厳しい状況にあることがあげられる。パチンコ機・パチスロ機は、それぞれ月に10機種程度発売されるが、その中で評価の高い上位1、2位の機種しか大量に購入されず、上位に入れない機種は数千台の販売で終えることとなる。当社が上期に苦戦した理由は、発売した機種が上位に入れなかったためである。

下期は、パチンコ機・パチスロ機ともに、当社の大型コンテンツを発売することにより、通期計画を達成していきたいと考えている。

Q2. スマートパチンコ・スマートパチスロについて。現行の遊技機との違いは何か。また、どのようなペースで市場に設置されていくのか。

A2. スマートパチンコは玉が循環する仕様で、スマートパチスロはデジタル表示となることからメダルを必要としない仕様となる。そのため、玉・メダルの補給機が不要で、さらに玉・メダルに触れないことからコロナ禍で歓迎されている。また、ゲーム性は現行の遊技機より向上するため、稼働が上昇し、パチンコホールの売上・利益が上がると見込まれている。

スマートパチンコ・スマートパチスロの導入は2022年の夏から秋の間に始まる予定だが、その普及には時間がかかるものと思われる。市場におけるパチンコ機とパチスロ機の設置割合は、パチンコ機がパチスロ機の倍近くあることから、普及にはパチンコ機は3～4年、パチスロ機は2～3年程度かかると想定される。この間、メーカーは現行の遊技機とスマートパチンコ・スマートパチスロの両方を並行して開発・販売していくこととなる。

Q3. スマートパチンコ・スマートパチスロの販売価格は現行の遊技機から変化はあるのか。また、メーカーの収益性は変わるのか。

A3. 販売価格は変わらない見込みであり、メーカーの収益性も変わらないと想定している。

【ゴルフ事業】

Q4. 土日はゴルフ場が大変混みあっている中で、さらにゴルフ事業の収益を伸ばすためには稼働率や単価を上げることが必要だが、そのための施策を教えてください。また、ゴルフ事業の成長のためには、M&Aが重要となると思うが、案件は増えているのか。

A4. 稼働率、単価のアップは重要なテーマだと認識している。当社のゴルフ場運営システム「Teela」を活用したレベニューマネジメントにより、さらなる稼働率、単価の上昇を目指していきたい。

M&Aについては、取得目標数や取得基準は設定していないが、ゴルフ事業の成長のために必要であり、良い案件があれば積極的に取得していきたいと考えている。